

はじめに

2022年に人生を覆すような大きな転換が起こり、気づけば自分がやりたいと思う仕事ができるようになりました。

この2年の間、決して順風満帆だったわけではありません。

試すように次々と課題が訪れ、そのたびに気持ちが揺らぎ「こんな自分ではダメだ」と落ち込み、停滞する日々が続きました。

その中で、日々の生活を通して自分の内側と対峙する時間が増え、耳にする言葉、出会えた仲間たちとの触れ合いや内側にある感情を話すことで、自分自身の本質や輝きに気づくことができました。

今は不思議なぐらい、安定して落ち着いている自分がいます。

私はヘリオセントリック占星術という星読みを学ぶきっかけとなった先生に、自分の惑星の連携を通して、収入を一つに絞らなくてもよいのではないのでしょうか？ とアドバイスをいただいたおかげもあり、星読みと大麻飾り職人という二つのお仕事をしています。

出生図の中には、自分の魂が決めてきたことや、持って生まれた才能、惑星の連携による役割など、本来の自分が持っている可能性がたくさん詰まっています。

この可能性を上手に使うことで人生の幅が広がり、日々のプロセスを通して、螺旋のように上昇しながら、自分の役割を発揮することができるようになります。

幼いころに好きだったこと、たくさんの体験や五感を通して感じたことが、ミルフィーユのようにいくつもの層を形成し、人生を彩り豊かなものへと導いてくれます。

生きている限り、人生は学びの連続です。

その学びの中には、気づきをもたらすたくさんのサインが詰まっています。

起こる出来事に対して、さまざまな感情が湧き起り、時にはもう立ち上がることもできないと思うこともあるかもしれません。

そんなとき、一つでもいいので心の支えとなるものを持つだけで新たな展開や気づきを得ることができます。ラジオ、小説、音楽、映画、人とのつながり、あらゆるものを通してあなたにヒントや愛を届けられています。

見えないけれどつながっています。そしてそのつながりは、ふとしたときにあなたを変容させてくれる大きなギフトとなるかもしれません。

痛みを伴った悲しみや苦しみという感情は、とてもつらいものではありませんが、本来のあなたに気づかせてくれるための大きな大きな愛であると思います。

今は世界や地球規模でさまざまな現象が起こっていることも、決して他人事ではなく、すべてのことはつながり合っています。

そして惑星は人々に変容を促すようなメッセージを届けてくれています。

一人一人が、地球で生きる人生の主人公でありクリエイターです。ヘリオセントリック占星術では、自分の内側で感じている思いが原動力となり、行動していくプロセスが描かれています。

また、これからスイッチを押していくためのヒントや、本来の自分を生きるために追い風を吹かせてくれるような人生の羅針盤が刻まれています。

私はこの占星術に出会うまで、また自分の人生を生きるまでに長い年月を費やしてきました。

多くの方がこの本をきっかけに少しでも早く、魂の願いに気づき、肩に力を入れずに才能を発揮し、豊かで幸せな人生を過ごしてほしいという思いから本を書かせていただくことにいたしました。

お読みになる方の、生きるヒントになれば幸いです。